

2024年2月27日

Turned stem tension band 法における垂直縫合は、矯正損失と骨癒合率に影響を及ぼすか

◆研究の目的と概要◆

当院では、上腕骨外科頸骨折に対しリバース型人工肩関節置換術を施行された患者さんの骨癒合率と整復位の損失について調べています。本研究では、さらなる骨癒合率の上昇と矯正損失の低減を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

Turned stem tension band 法：上腕骨外科頸骨折に対するリバース型人工肩関節における大小結節の締結法

◆対象となる患者さん◆

2014年10月から、2021年10月までの間に、上腕骨外科頸骨折であると診断され、リバース型人工肩関節置換術を受けられた方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、上腕骨外科頸骨折の骨折型（Neer 分類）、合併症、単純レントゲン写真、CT および ASES score、肩関節可動域

◆情報の研究利用開始日◆

2024年4月1日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録からの情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
整形外科 研究責任者 高山和政

E-mail: kenkyu★chnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明